

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年3月～2024年2月】



塚越土建株式会社

《ご挨拶》

塚越土建株式会社は、明治31年に創業以来、地域の建設業として河川や道路などの土木工事・住宅などの建築を主に手がけました。熱意と誠意をもって、創意工夫し経験と技術力を惜しみなく発揮しお客様の満足と信頼を得、社会に貢献するという経営理念のもと、受注から設計、施工、検査、保守点検までを藤岡市を拠点に活動しています。地域のインフラや住環境を最善の方法で提供することを通じて社会に貢献し、全社員が成長することを目指しています。

塚越土建株式会社

代表取締役

塚越 洋



《目次》

1. 事業活動の規模	P. 1～2
2. 環境経営方針	P. 3
3. 環境経営目標・環境経営計画	P. 4
4. 推進組織図	P. 5
5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	P. 6
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P. 7
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	P. 8
8. 代表者による全体の評価の見直し・指示	P. 9

1. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

塚越土建株式会社
代表取締役 塚越 洋

2. 所在地

本社・第一倉庫 〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須116-2
上野事業所 〒370-1613 群馬県多野郡上野村勝山624

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 塚越 洋
環境管理責任者 : 専務取締役 塚越 伸
担当 : 事務局 小澤 秀幸
TEL : 0274-22-0466
FAX : 0274-24-2689

4. 事業の内容

総合建設業（土木工事・建築工事）

5. 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年
売上高	百万円	954	768
従業員数	人	39	36
延べ床面積	m ²	1,082.54	1,082.54

6. 対象範囲（認証・登録範囲）

塚越土建株式会社 全組織及び全活動

7. 建設業の許可

群馬県知事 許可（特-4）第3563号

許可の有効期間 令和4年9月29日から令和9年9月28日まで

建設業の種類

土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業
石工事業、屋根工事業、管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業、鉄筋工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業
板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業
熱絶縁工事業、建具工事業、水道施設工事業、解体工事業

群馬県知事 許可（般-4）第3563号

許可の有効期間 令和4年9月29日から令和9年9月28日まで

建設業の種類

造園工事業、さく井工事業

塚越一級建築士事務所

群馬県知事登録 第1585号

期間 令和6年2月16日から令和11年2月15日まで

8. 産業廃棄物収集運搬業の許可

群馬県知事 許可番号 01000019494

許可の有効期間 令和元年5月15日から令和6年5月14日まで

産業廃棄物の種類

①汚泥、②廃プラスチック類、③紙くず、④木くず、⑤繊維くず、⑥ゴムくず
⑦金属くず、⑧ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、⑨がれき類

※②、⑧、⑨については、石綿含有産業廃棄物を含む。

※ 自社分の運搬のみ

2. 環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境を保つことが、人類共通の課題のひとつと認識し、事業活動を行います。

〔基本方針〕

当社は、地域のインフラや住環境を、最善の方法で提供することを通じて、社会に貢献し、全社員が成長することを目指します。

＜環境への取組の重点分野＞

1. 環境負荷低減のための施工計画の策定及び施工の推進
2. 省エネ型の重機や車両の導入及び使用による二酸化炭素排出量の削減
3. 建設現場から排出される産業廃棄物の適正処理及び建設リサイクルの推進
4. 環境経営の継続的改善の実施
5. 事業活動において適用される環境関連法規等の遵守
6. 環境経営方針の全社員への周知
7. 環境に関する情報の社内外への公表及び地域社会とのコミュニケーション

2022年 10月 1日

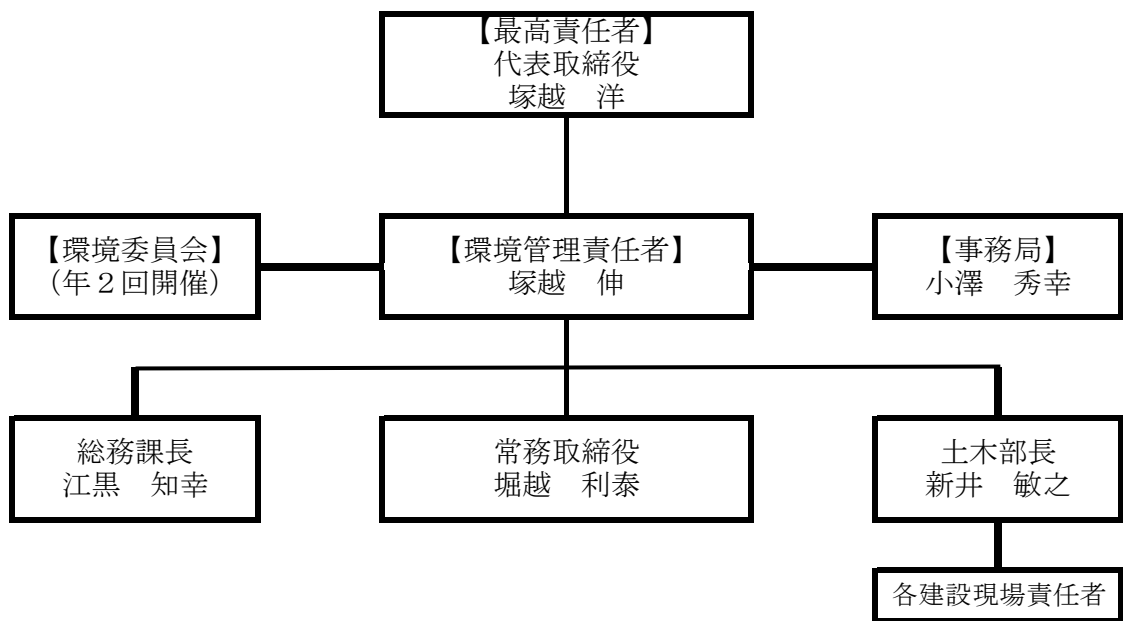
塚越土建株式会社
代表取締役
塚越 洋

3. 環境経営目標・環境経営計画

環境経営目標(環境経営レポート対象期間)				環境経営計画(環境経営レポート対象期間)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素 排出量 の削減	2021年度 (198kg-CO2/100 万円)	2021年度に対して 2%減	○		①空調温度適正化・表示
				○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				○	○	③エアコン清掃の実施
				○	○	④エコドライブ推進
				○	○	⑤社用車の点検・整備
					○	⑥省エネ型建設機械の利用
					○	⑦アイドリングストップの徹底
				○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出 量の削減	2021年度 (1,334kg/100万 円)	2021年度に対して 2%減	○	○	①分別ルールの徹底
				○	○	②廃棄物置場の整備
				○		③廃棄物排出量の集計
				○	○	④裏紙使用ルールの徹底
					○	建設リサイクルの推進
3	従業員1 人当りの水使 用量の 削減	2021年度 (5.37㎡/人)	2021年度に対して 2%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
				○	○	②節水表示
				○	○	③増量ノズルへの交換
				○		④トイレの節水
					○	節水活動の徹底
4	化学物 質取扱 及び管 理の徹 底	—	取扱商品の調査	○		①取扱商品(化学物質含有)の調査
				○		②購入量の把握
				○		③SDSの入手
				○		④取扱商品一覧表の作成
				○		⑤管理手順の策定(化学物質含有の場合)
					○	⑤管理手順の徹底(化学物質含有の場合)
5	本業に 関する 目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)				
		②廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)				

* 購入電力の排出係数は、0.441kg-CO₂/kWh【東京電力エナジーパートナー(株)】を使用しています。

4. エコアクション21 推進組織図



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 塚越 洋】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【塚越 伸】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【小澤 秀幸】 ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、年2回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標							環境経営計画	
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の達成状 況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化炭素 排出量の削減	2021年 度 (198kg- CO2/10 0万円)	2021年 度に対 して2%減	194.04k g- CO2/10 0万円	207kg- CO2 /100万 円	未達成	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③エアコン清掃の実施	○
							④エコドライブ推進	○
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥省エネ型建設機械の利用	○
							⑦アイドリングストップの徹底	○
							⑧電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り廃棄物排出 量の削減	2021年 度 (1,334kg /100万 円)	2021年 度に対 して2%減	1,307.32 kg/100 万円	2,469kg /100万 円	未達成	①分別ルールの徹底	○
							②廃棄物置場の整備	○
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	○
							建設リサイクルの推進	◎
3	従業員1 人当りの水使用 量の削減	2021年 度 (5.37m³/ 人)	2021年 度に対 して2%減	5.2626m³ /人	5.91m³/ 人	未達成	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	◎
							②節水表示	○
							③増量ノズルへの交換	△
							④トイレの節水	△
							節水活動の徹底	○
4	化学物質取扱 及び管理の徹底	—	取扱商 品の調 査	—	取扱商 品一覧 表が作 成され た	達成	①取扱商品(化学物質含有)の調査	◎
							②購入量の把握	○
							③SDSの入手	◎
							④取扱商品一覧表の作成	△
							⑤管理手順の策定(化学物質含有の場合)	△
							⑤管理手順の徹底(化学物質含有の場合)	△
5	本業に 関する 目標	①環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						○
		②廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2023年3月～2024年2月
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	159,128.40
②廃棄物排出量(kg)	1,895,518
③水資源投入量 (m ³)	213

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)		
	項目	基準年 (実績)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2021年度 (198kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 3%減	2021年度 に対して 4%減	2021年度 に対して 5%減	○		①空調温度適正化・表示
						○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						○	○	③エアコン清掃の実施
						○	○	④エコドライブ推進
						○	○	⑤社用車の点検・整備
							○	⑥省エネ型建設機械の利用
							○	⑦アイドリングストップの徹底
						○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削 減	2021年度 (1,334kg /100万円)	2021年度 に対して 3%減	2021年度 に対して 4%減	2021年度 に対して 5%減	○	○	①分別ルールの徹底
						○	○	②廃棄物置場の整備
						○		③廃棄物排出量の集計
						○	○	④裏紙使用ルールの徹底
							○	建設リサイクルの推進
3	従業員1人 当たりの水 使用量の 削減	2021年度 (5.37㎡/ 人)	2021年度 に対して 3%減	2021年度 に対して 4%減	2021年度 に対して 5%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						○	○	②節水表示
						○	○	③増量ノズルへの交換
						○		④トイレの節水
							○	節水活動の徹底
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査・管 理手順の 策定	管理手順 の順守	○		①取扱商品(化学物質含有)の調査
						○		②購入量の把握
						○		③SDSの入手
						○		④取扱商品一覧表の作成
						○		⑤管理手順の策定(化学物質含有の場合)
							○	⑤管理手順の徹底(化学物質含有の場合)
5	本業に関 する目標	①環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						
		②廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

昨年度は、売上高の減少により目標を達成できなかったが、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進める。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定建設作業の届出	遵法
振動規制法	特定建設作業の届出	遵法
労働安全衛生法	労働基準監督署へ計画届を提出 及び事前調査結果等を表示、記録の保存	遵法
リサイクル法	発生抑制、再利用、再生利用、 再資源化努力	遵法
建設リサイクル法	県知事に届出及び発注者への完了報告、分別解体等、再生資源化等の促進、再生資源の使用	遵法
藤岡市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例	土地所有者の同意、事前協議、許可の申請、事業着手の届出	遵法
建設廃棄物処理指針	マニフェストに基づく適正処理の実施	遵法
建築基準法	石綿含有建材の使用禁止、クロルピリホス添加建材の使用禁止、ホルムアルデヒドに関する	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検3か月に1回以上、点検・整備の記録	遵法
道路交通法、道路法	積載基準の遵守	遵法
消防法	市町村条例(火災予防条例)で定める	遵法
廃棄物処理法	委託基準(契約書・許可証)、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2023年3月～2024年2月の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

2022年10月に環境方針を掲げ、エコアクション21の取得を目指して取り組みを開始し、2023年8月に認証を取得しました。その後も引続き燃料の節約、節電、節水などに社員全員で取り組みました。

2023年度は売上高が減少したため、軽油やガソリンを中心に二酸化炭素実排出量は削減できましたが、売上当たり二酸化炭素排出量は目標未達成でした。また、売上当たり廃棄物排出量と一人当たり水使用量も目標未達成でした。

今後は、まだ取り組みを始めたばかりなので、さらに各社員の意識を向上させエコアクション21の取り組みが定着するよう、継続して活動していきたいと思います。

実施日：2024年4月

17日

環境経営方針

☒変更なし

☐変更する